安全データシート（SDS）

路面表示用 水性塗料 ホワイト（小分け品）

作成日：2026年09月28日
改訂番号：第1版
整理番号：NX-SDS-001

株式会社ノエックス　〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-9-5 NOEX TSUKUBA BASE B1F　TEL 029-844-8050

1．化学品及び会社情報

化学品等の名称	路面表示用 水性塗料 ホワイト（小分け品）
会社名	株式会社ノエックス
住所	〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-9-5 NOEX TSUKUBA BASE B1F
電話番号	029-844-8050
ファックス番号	029-844-8050
緊急連絡電話番号	029-844-8050
推奨用途及び使用上の制限	路面表示（ステンシル塗装）用の床用塗料 合成樹脂エマルションペイント 業務用

2．危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷／刺激性	区分2A
	生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性（単回暴露）	視覚器	区分2
	全身毒性	区分2
	中枢神経系	区分2
特定標的臓器毒性（反復暴露）	視覚器	区分2
	中枢神経系	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分3
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分3

GHSラベル要素

注意喚起語（絵表示）



注意喚起語　危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による視覚器、中枢神経系の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害
強い眼刺激

注意書き　安全対策

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手や眼をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

注意書き　応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
注意書き　保管	施錠して保管すること。
注意書き　廃棄	内容物、容器の廃棄は、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	合成樹脂エマルションペイント

成分及び濃度

成分名	化学式または構造式	濃度%	官報公示整理番号	CAS番号
水(H2O)	H2O	20～30	化審法：- 安衛法：-	7732-18-5
酸化チタン(TiO2)	TiO2	10～20	化審法：(1)-558, (5)-5225 安衛法：-	13463-67-7
メタノール	CH4O	5未満	化審法：(2)-201 安衛法：-	67-56-1
アンモニア(NH3)	NH3	1未満	化審法：(1)-391 安衛法：-	7664-41-7
その他		50～60		

4．応急措置

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着物を布にて素早く拭き取ること。 大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とすこと。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗うこと コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと できるだけ早く医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	適切な保護具（保護メガネ、防毒マスク、手袋など）着用すること。 換気を行うこと。

5．火災時の措置

消火剤	水、炭酸ガス・泡・粉末消火器、乾燥砂
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	このもの自体には可燃性はない。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。
屋内では換気をしっかり行うこと。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。

環境に対する注意事項
河川への流出などにより、環境への影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の漏出物には盛土などで囲って流出を防止すること。
水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意すること。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気）
換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉すること。

取扱者の暴露防止の記載
情報なし。

接触回避
特になし。

衛生対策
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件
日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
漏れ、あふれ、飛散しないよう必要な措置を講ずること。
盗難防止のために施錠保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
5°C以下あるいは４０°C以上になる場所に保管しないこと。

安全な容器包装材料
不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用すること。

8．暴露防止及び保護措置

成分名	厚生労働省(安衛法) 管理濃度	日本産業衛生学会　許容濃度	ACGIH　許容濃度
酸化チタン(TiO2)	－	0.3mg/m3;総粉塵2mg/m3 吸入性粉塵1.5mg/m3	TWA 10 mg/m3,STEL -
メタノール	200ppm	200ppm(260mg/m3)(皮)	TWA 200 ppm,STEL 250 ppm (Skin)
アンモニア(NH3)	－	25ppm(17mg/m3)	TWA 25 ppm,STEL 35 ppm

設備対策
特別に必要ない。

保護具　呼吸用保護具
防塵マスクを着用すること。

保護具　手の保護具
有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

保護具　眼の保護具
取扱いには保護メガネを着用すること。

保護具　皮膚及び身体の保護具	長袖、長ズボンを着用する
特別な注意事項	この製品自体、防塵マスク着用の義務はないが並行して行われる工事など作業環境を考慮し、保護具を着用すること。 酸欠が懸念される環境では専用の呼吸用保護具を装着すること。 施工道具を有機溶剤を使用して洗浄する場合、耐溶剤性手袋を着用する。 厚手の耐溶剤性手袋でも有機溶剤は短時間で透過するので、塗装器具などを洗浄する場合は、トング・ハンガー・ブラシなどの道具を用い手袋を溶剤につけないように作業すること。 漏洩物の回収作業など、5分以上連続で溶剤に直接触れて作業する場合は、中に使い捨て手袋を装着し、二重手袋で使用するとよい。使い捨て手袋には継ぎ目のないニトリル製などが望ましい。 耐溶剤性手袋は使用後、吊り下げて風乾し再使用すること。化学防護手袋は、使用時間が破過時間に達した時、新しい手袋に交換すること。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	ホワイト系
臭い	アンモニア臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100°C（参考値）
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	引火せず
自然発火点	自然発火しない
分解温度	情報なし
pH	10～11
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	1.3
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ（放射性、かさ密度、燃焼持続性等）	情報なし

１０．安定性及び反応性

反応性	特に情報を有していない。
化学的安定性	通常の条件下で安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合は、一酸化炭素などの有害ガスが発生する。

１１．有害性情報

この製品自体の有害性試験は行っていない。「２．危険有害性の要約」に準じ、取り扱うこと。

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	皮膚等障害化学物質のメタノールを含有するため、保護具を着用すること。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

１２．環境影響情報

この製品自体の有害性試験は行っていない。「２．危険有害性の要約」に準じて取り扱うこと。

水生環境有害性 短期（急性）	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に基づきオゾン層破壊物質 (ODS) とされる化合物を含有しない。
その他のデータ	漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
等級（クラス）	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当

国内規制

陸上規制情報	非該当
航空規制情報	非該当
海上規制情報	非該当

緊急時応急措置指針番号

１５．適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
　アンモニア(政令番号：39)
　メタノール(政令番号：560)
　酸化チタン（ＩＶ）(政令番号：191)
がん原性物質(安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)　非該当
特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質(令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)
　非該当
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)
　非該当
皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)
　メタノール
濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

消防法

非危険物

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

悪臭防止法

特定悪臭物質(施行令第1条)

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

１６．その他の情報

参考文献・引用文献

NITE独立行政法人製品評価技術基盤機構
労働安全衛生法政省令改正に対応したSDS記載例　改訂第１版　(一社)日本化学工業協会
「GHS対応　SDS・ラベル作成ガイドブック」 改訂第4版　(一社)日本塗料工業会

その他

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。詳細データが必要な時は当社までお問い合わせください。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
本品は原料メーカーの製品を当社で小分けしたものです。記載内容は原料メーカーのSDSに基づきます。